

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、新規検査の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

#### ● ABC検診

検査項目名	[M84] ABC検診*
検体量/保存方法	血清 0.6mL/冷蔵
検査方法	ペプシノゲン(PG):ラテックス凝集比濁法、ヘリコバクター・ピロリ(HP)抗体 IgG:EIA
所要日数	3~5日
定価	ペプシノゲン:4,000円、ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG:1,000円
備考	※1 報告はペプシノゲンとヘリコバクター・ピロリ抗体の判定とABC分類(胃の健康度をA, B, Cそれぞれの区分に分類)でご報告致します。(別表参照) ※2 ABC検診のセット内容は下記の通りです。 [5084] ペプシノゲン、[5103] ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG、 [5639] ABC分類

\* 当該検査はセット検査として運用させていただきます。依頼書でご依頼の際は[M84]ABC検診とご記入下さい。

### 受託開始日

#### ● 平成22年8月2日(月)

# ABC検診

ABC 検診とは、胃粘膜の萎縮(老化)の状態を調べるマーカーであるペプシノゲン(PG)検査と胃・十二指腸潰瘍や胃がんの原因の一つと考えられているヘリコバクター・ピロリ菌 (HP)の抗体価検査の2種の血液検査を組み合わせ「胃の健康度」を調べる検査です。この検査結果により A,B,C の3群にリスク分類し、このリスク群に応じた検診間隔を設定することにより、効率的な健康管理を行うことが可能です。<sup>1,2)</sup>

またABC 検診は、血液で検査ができるため受診者の負担が少なく、胃疾患のハイリスク群、ローリスク群を客観的に推定することができます。さらにX線や内視鏡などの画像診断を併せて行うことにより、診断精度も向上します。

## ● ABC分類の判定基準と胃の健康度

### 【ABC分類の判定基準】

		HP抗体価検査	
		(-)	(+)
PG検査	(-)	A	B
	(1+)~(3+)	C	

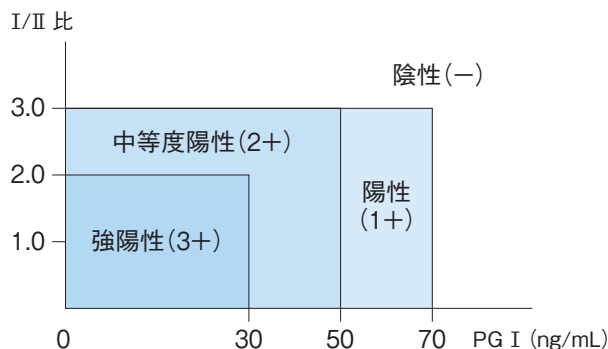
### 【胃の健康度<sup>3)</sup>】

- A群：健康な胃粘膜**  
健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
- B群：消化性潰瘍に注意**  
少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
- C群：胃疾患の高危険群**  
胃がんなどの病気になりやすいタイプです。内視鏡による定期的な検査をお勧めします。

## ● 補足

### 【PGの判定基準】

判定		測定値	
		PGI (ng/mL)	I / II 比
強陽性	3+	30 以下	かつ 2.0 以下
中等度陽性	2+	50 以下	かつ 3.0 以下
陽性	1+	70 以下	かつ 3.0 以下
陰性	-	上記条件以外	



※PGの判定は、厚生労働省研究班報告<sup>4)</sup>の判定基準を基に行います。(通常の弊社判定基準とは異なります)

### 【注意事項】

以下のいずれかに当てはまる人は正しい結果が得られない場合がありますので、予め注意が必要です。

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 上部消化管疾患治療中の方
- プロトンポンプ阻害剤服用中の方
- 胃切除後の方
- 腎不全の方
- ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受けた方

※ご依頼に際しましては、ヘリコバクター・ピロリ除菌歴の有無をご確認下さい。未感染者と既感染者ではリスク程度が異なると考えられており、既感染者がA群に編入される可能性があります。

## ■ 参考文献

- 1) 乾 純和, 他: Helicobacter Research 11, 554~561, 2007.
- 2) 井上和彦, 他: 日本がん検診・診断学会誌 12, 138~143, 2005.
- 3) 井上和彦: Helicobacter Research 11, 562~567, 2007.
- 4) 厚生労働省がん研究助成金による「血清ペプシノゲン値による胃がんスクリーニングに関する研究」 班総合研究報告書 (平成9年~平成12年度)